



東山霊園

災害に 強いまちを つくる

◆消防体制の強化を

問 市内に高層ビルが増加しているが消火活動に必要な、はしご車の整備計画は。

答 松本広域消防局において (山口)

などについては、今後議論を重ねながら考えていきたい。

◆霊園・お墓の考え方は

問 近年、家族の形やライフスタイルの多様化によりお墓をどうするか継承者の問題が増えているが対策は。(山口)

答 お墓に対し継承を必要としない合葬式墳墓の整備が広まり県内では5市が運営している。今後調査検討したい。

本年度塩尻消防署に長さ25mのはしご車が配備される。

◆要援護者の支援強化を

問 支援を必要とする高齢者や障がい者は、過去の災害において7〜8割が近隣住民に救出されている。地域では把握が難しいが対策は。(山口)

答 災害時に自力で避難が困難な方の名簿を作成し、同意を得た要援護者については地域に名簿を提供し、支援や安否確認等行えるよう体制を整備する。

問 個人情報扱いについて配慮が必要では。(山口)

答 個人情報保護に関しては取り扱いについての協定を締結していく。

◆子どもを守る安心の家

問 通学路に安心の家をもっと増やしてほしい。(永井)

答 この事業は自主防犯の見



子どもを守る安心の家



本年度ははしご車が配備される予定の塩尻消防署

安心な 子育ての サポートを

◆通学路の安全対策は
問 横断歩道やグリーンベルトなどの設置が困難な所は地元と相談して対応されたい。(古畑)

地からボランティア活動で成り立ち、小学校及びPTAが主体となり、事業に理解のある民家や商店等に協力を求め警察署長、地区防犯協会長、学校長、PTA会長等の連名で委嘱し、看板等の表示は、事業主体の警察が用意する形で、安心の家の指定拡大は可能。

至る事件が各地でおき、事実の隠蔽などが起きている。学校において、人権侵害であり暴力であるいじめから、子どもが命が守られ、安心して過ごせる場であるよう取り組むことが教育行政に求められていると思うが、市の取り組み、考えは。(鈴木)

答 どの学校、どの教室にも起こりうることで、いじめを行うことも見逃すこともあってはならない。早期対応のため、サインを見逃さず、教職員チーム体制での対応、研究会、情報交換なども行っている。必要に応じ、教育関係支援チームで対応にあたり、見落としや隠蔽のない解決へ体制、機能を高めていきたい。

◆義務教育の充実を

問 すべての学校で一貫教育に取り組み考えは。(宮田)



安全対策が求められる通学路

◆教育問題について
問 学校でのいじめで自殺に